

ション調査開始，植物コレクション調査結果を連合ウェブサイトで公開)。5. 2014 年度予算：予算案（一般会計）について説明があり，承認された。6. 鶴崎代表から J-STAGE における論文掲載について話題提起され，日本植物分類学会，日本進化学会，日本ダニ学会から現状報告された。日本原生生物学会から情報収集の必要性が提案された。今後，情報集約し，連合庶務からメーリングリストで報告予定。日本分類学会連合として要望書提出については今後検討予定。

<その他>

1. 日本原生動物学会の名称を日本原生生物学会に変更したことが報告された。2. マーク・J・グライガー氏（琵琶湖博物館）による国際動物命名規約に関する説明があった。

3. 水産・海洋科学研究連絡協議会

第1回協議会が2013年5月20日に東京海洋大学品川キャンパスで開催された。

<議題>

1. 議長の選出：渡部終五氏が推薦され，全員一致で承認された。2. 副議長の選出：渡部氏より日本海洋学会の代表（津田敦氏），日本魚病学会の代表（岡本信明氏），漁業経済学会の代表（末永芳美氏）が推薦され，全員一致で承認された。3. 幹事の選出：昨年度に引き続き竹内俊郎氏とすることが承認された。4. 各学会の活動の紹介があった。5. 学協会の法人化対策について：一般社団法人化する場合の情報提供があった。6. 日本学術会議第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定について情報提供があった。7. 東日本大震災災害復興支援シンポジウムについて：本シンポジウムは日本学術会議主催フォーラムとなること，講演者が全て決まり次第，詳細を検討する予定であること等の報告があった。

第2回協議会が2013年11月28日に東京海洋大学品川キャンパスで開催された。

<議題>

1. 日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」：準備状況について報告があった。2. 各学会の活動の紹介があった。3. 学協会の法人化対策について：日本学術会議公開シンポジウム「学協会の新公益法人法への対応の現状と展望」（10/22）について紹介があった。マリンバイオテクノロジー学会と水産海洋学会が法人化を目指しているとの情報提供があった。4. 日本学術会議第22期学術の大型施設計画・大規模研究計画に関するマスタープラン策定について：経過と今後について報告があった。5. 日本学術会議第23期会員，連携会員の選出方法について：水産学分会は，本協議会の代表が入れるような体制にしたいので，各学会から積極的な推薦をお願いしたいとの説明があった。

4. 日本学術会議主催学術フォーラム

日本学術会議主催学術フォーラム「東日本大震災からの水産業および関連沿岸社会・自然環境の復興・再生に向けて」が2013年11月29日に日本学術会議講堂（東京都港区六本木）で開催された。

<概要>

1. 主催：日本学術会議。2. 共催：食料科学委員会水産学分会，水産・海洋科学研究連絡協議会，日本水産学会。3. 後援：日本農学アカデミー，大日本水産会，全国漁業協同組合連合会，水産海洋学会，日本付着生物学会，日本魚病学会，国際漁業学会，日本ベントス学会，日本魚類学会，地域漁業学会，日仏海洋学会，日本海洋学会，日本水産増殖学会，日本藻類学会，マリンバイオテクノロジー学会，日本水産工学会，日本プランクトン学会，漁業経済学会。4. 次第：12の演題と総合討論があり，本学会としては，田中次郎会長が第二部の座長を務めた。



海洋植物観察ガイド&防水リーフレット

この和文誌藻類の編集でも使っている InDesign を使って，私の研究室の堀内 はるなさん（学部4年生）が素敵な千葉県館山市沖ノ島の海洋植物観察ガイド&防水リーフレットを作成しました。地元の小中学生や館山市にあるお茶の水女子大学湾岸生物教育研究センターでおこなわれる SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の生徒さん達用に作成したもので，販売はしていません。日本藻類学会船橋大会のコンgresバックに，こっそり忍び込ませようと思っています。（島田）



「海の観察ガイド - 千葉県館山市沖ノ島 海の植物編 -」